

## 事業名：江別市商店街振興組合連合会補助金

参事（商店街活性化）

政策	02 明日につながる産業の振興								
施策	03 商業の振興								
基本事業	02 商店街の活性化								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市商店街振興組合連合会

手段（事務事業の内容、やり方）

・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」に基づき、江別市商店街振興組合連合会の指導事業費の1/2を補助する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

商店街の組織化、近代化を推進するとともに、商店街の振興発展と連合会の運営の円滑化を図る。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	連合会加入組合等の数	組合	8	8	8	8
対象指標2	連合会加入組合傘下の商店等の数	所	142	136	99	136
活動指標1	補助金額	千円	800	800	800	800
活動指標2						
成果指標1	会員への事務処理等指導件数	件	8	8	8	8
成果指標2						
事業費(A)		千円	800	800	800	800
正職員人件費(B)		千円	1,204	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	2,004	1,602	1,581	1,582

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	江別市商店街振興組合連合会指導事業に対し補助金を支出	江別市商店街振興組合連合会指導事業への補助金 800千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
商業振興、商店街の活性化、街づくりのための各種事業を行う江別市商店街振興組合連合会を積極的に支援する。	
事業を取り巻く環境変化	
長引く不況や集客力の格差による大型店の影響などにより、連合会加入参加の商店数が減少している。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

妥当である	理由 根拠	中小企業（団体）の自主的な努力を助長しその成長発展を図るためには公的支援が必要であり妥当である。
妥当性が低い		

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい	理由 根拠	商店街組合が組織化して活動することは、直接基本事業に結びつくもので貢献度は大きい。
貢献度ふつう		
貢献度小さい		
基礎的事務事業		

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

上がっている	理由 根拠	厳しい経済状況や大型店進出により、商店街を取りまく状況は厳しくなっている。江別市商店街振興組合連合会にかかる期待はますます高まるものと思われる。
どちらかといえば上がっている		
上がらない		

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大	理由 根拠	本事業のみでは成果向上余地はさほど大きくないが他の事業との連動によりその可能性は大きくなる。
成果向上余地 中		
成果向上余地 小・なし		

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？

ある	理由 根拠	北海道商店街振興組合連合会、江別市の補助金が収入の3割を占めている経営基盤の弱い団体である。また、市及び道商連の補助金削減は連合会の運営に大きな影響を及ぼすものである。
なし		